

相馬病院看護部目標紹介

今年1月の看護部ブログでご紹介しました、「看護部長の勝手に一人反省会」を基にして、25年度の看護部目標を掲げました。各部署のコメントと一緒にご紹介します。

★★平成25年度看護部目標★★

『良質な看護の提供』

<安全強化>

些事徹底

些細なことでも真面目に一生懸命

徹底して取り組む



皆様は、「安全のABC」をご存知ですか？私は部長就任当初企画した「接遇」研修の講師の方より教わりました。「安全のABC」＝『あたり前のことをバカにしないで チャンとする』という内容を「ABC」と表現された標語のようでした。当時は接遇の研修として捉えていましたが、安全にも関連した標語であることを知りました。

18年度から看護部管理を任せ、『良質な看護』を考えながら目標の方向を指し示してきました。「振り返り」「疑問に思う」「気付き」のある看護をどのようにすれば実現できるのか課題でした。

25年1月の看護部ブログでもご紹介しましたように、看護部理念の「自分が受けてみたい看護」は、何より『安心・安全』な看護です。患者様にとって安全安心な病院、職員にとって安全安心な職場であるためには、あたり前のことがきちんと出来ていることが何より大事なことです。些細なことでも周知し、徹底して実施されていることは大変レベルの高い内容です。

そのために今年度は看護部の委員会も再度見直しをしました。

従来看護部RM（リスクマネジメント）委員会から、「看護部安全対策委員会」に変更、また看護部内の看護の継続性を深め、職員のスキルアップを狙い「看護部継続看護対策委員会」を立ち上げました。

「看護部安全対策委員会」では、KYT（危険予知トレーニング）研修の事例を検討して

部署の取り組みとし、長年の課題であった「振り返り」「疑問に思う」「気付き」を個人レベルで更に深めていきます。勿論部署で発生したインシデント対策も、是正処置を検討しながら患者様・職員が安心できる・安全な環境を見直し構築します。

「看護部継続看護対策委員会」は、訪問診療と訪問看護ステーションの充実で、院内にも在宅療養・在宅での生活についての意識が高まる一方で、職員の在宅復帰援助のスキルをもっと磨く必要があります。外来・病棟・在宅への継続看護の充実を更に図るよう「振り返り」「疑問に思う」「気付き」を深めサービスに繋げていきます。

また外来看護の役割はより重要になっています。業務の整理に結びつけながら外来から始まる継続看護の提供を次の目標に考えています。また積極的に病院看護師が訪問看護に同行して、在宅療養に対する学びを深めていきます。

こういった考えから、『些事徹底』に決定しました。

些細なこと（あたり前のこと）でも、真面目に一生懸命に（バカにしないで）徹底して取り組む（ちゃんとする）、を目標にしました。

現在当院は、耐震補強・大規模改修工事が行われています。患者様やご家族の方々にはご迷惑をおかけしています。工事関係者も病院職員も、安全に対する取り組みはプロフェッショナルです。

工事が安全に無事終了し、今年度が終了したところには、看護部の安全に対する取り組みが、更に徹底して行われていくように見守り指導していきます。

★★平成 25 年度外来・手術室目標★★

『よりよい外来・手術室看護の追求』

今年度の看護部目標である『些事徹底』から外来・手術室では、安全を重点的に強化します。

昨年度は、自分が患者様になってみて、安全・安心のための現状調査から『自分ならこうしてほしい』の思いをチームで取り組み実行した1年でした。安全強化として、防災への意識付けのために緊急連絡体制の回覧を実施しました。回覧は思うようにはいかなかったのですが、ルール化することで非常時に対応出来るマニュアルが完成出来ました。また、患者様が、不安や不信を感じる事がないように、日々の学習、技術の再確認、看護指導書の見直しをして同じ手技、説明が出来るよう標準化・説明強化に取り組みましたが、今年度も継続したいと思います。

今年度は安全について目標設定して、ケアレスミスが発生させないための具体策を立案し、昨年度以上の成果を達成したいと考えております。

安全を提供させていただくためには、まずは、職員自身が自分の健康について意識する

ことが重要だと思えます。健康で勤務を続けられる事は、職場のレベルアップやチームワークの向上、活性を高めることに繋がると考えます。さらに、正確な業務を実施するために、昨年度見直しをした外来独自の業務マニュアルや指導書の整備・更新をして確認できるルールやマニュアルを作成する予定です。

安全強化ケアレスミスを発生させないために、些細なことやあたり前のことでも何度でも《確認》を怠ることがないようにスタッフ全員で取り組みます。

良質な看護の提供を目標に患者様・家族様から信用・信頼される外来・手術室を目指します。

☆☆平成25年度2階病棟目標☆☆

『より良質で安心できる継続看護の提供』

大きな目標は、昨年に続き《安全強化》です。

「安全」とは当然のことのようではありますが、日々私たちの行っている看護、全ての基盤だと考えます。

看護部目標でもある、相手の立場立ったより良質な看護の提供も、「安全」が守られない様では、信頼関係も成り立ちません。

2階病棟では昨年から継続して特に日々「思いこみ」をしない様、「確認」の徹底を注意喚起してきました。

マニュアル通りに業務を行う事は当然の事ですが、それこそが看護部の目標にもある『些事徹底』だと思えます。些細な事でも真面目に一生懸命徹底して、『安全』を守っていく事をスタッフに日々指導し続けることが科長としての役目だと考えます。

入院中だけでなく、その方の退院後の生活を見据えた看護を提供することや、他職種との継続的な連携を図り、一年間全ての事に対して、真面目に＜些事徹底＞して、より安全で安心出来る看護を継続していけるよう2階病棟スタッフと一眼となって協力し、より良質な看護を目指していきたいと思えます。

☆☆平成25年度3階病棟目標☆☆

『より安全な環境の提供』

今年度の看護部の目標は『安全強化』～些事徹底～これを病棟目標に置き換えると、第一に注意すべきことは“患者様の状況に応じたベッドサイドの環境を整える”です。

入院患者様のベッドやその周囲は、入院中の生活の場であり、日ごろから整理整頓・清掃の環境を整えるのは安全の第一歩であるという科長の考えに基づいた点です。この考えを継続した上で昨年はさらに防災対策を意識して、衣装棚の固定のチェックや、電動ベッド使用中の停電時の対応など病棟会で指導を行っていきました。これは毎年スタッフとベ

ッドサイドの環境を整える事に対して共に考え、築き上げてきました。
今年も“安心”に繋げていけるよう継続していきたいと考えています。

また患者様にとって安心と感ずることが出来るものは何か？を考えると、それは当たり前前の事がきちんと出来る事です。そのためには、まず自分自身の健康管理をしっかりと行う事と、言葉かけで確認することや、普段と何か違うという気付きによって、ケアレスミスを防ぐことができるという事だと考えます。

昨年度は看護部で防災に対して取り組んできたことがマニュアルとなり、今年度は防災に対して器具の取り扱いや訓練の実施をおこない、災害時に対応できるような基礎知識を習得し防災に対しての意識を高め『安全強化』としていきたいと考えています。

普段から些細な事でも真面目に取り組み一生懸命徹底して行うことが安全に繋がり、安心へと変わっていくことと信じています。

★☆☆平成25年度透析室看護目標☆☆★

『ケアレスミスを防ぐ確認の徹底』

大きな目標は、『安全強化』です。

「安全」とは当然のことのようではありますが、日々私たちの行っている看護全ての基盤だと考えます。

昨年8月より科長兼務となった当初より、インシデント原因に多かった要因を無くすよう様、「確認」の徹底を注意喚起してきました。しかしそれでも同じようなインシデントが発生します。その為発生したインシデントに対し必ず是正処置を考案し、その後の振り返りを行ってもらうことで『安全』への意識を高めてもらうようにと考えています。その為には「出来ているか」を確認し、「出来る」までスタッフに同じ事を言い続けることが科長としての役目だと考えます。

透析室は血液を体外循環させて行う治療のため、特に災害時には現場で迅速な対応が必要となります。

マニュアルを周知する事だけではなく、実際にシミュレーションを実施し、患者様や自分達の「安全」の為、防災に対しての意識を強化していけるよう働きかけたいと考えています。

日々安全な環境を整える事が管理者としての役割でもあります。

透析室スタッフで協力して一年間それぞれに対して些細な事も、真面目に一生懸命徹底して『安全』を守っていく事、で『安全強化』を行っていきたいと思います。

★★平成 25 年度訪問看護ステーション目標★★

『継続性のある看護力の強化』

～より良い在宅療養生活を支える訪問看護師になろう～

『気づく力』『考え工夫する力』『コミュニケーション力』『マネジメント力』

おかげさまで、訪問看護ステーションを開所して2年目を迎えることができました。一年目は、とにかく走り続けてきましたが、二年目は今まで以上に質が問われる年となるでしょう。

そのことを踏まえ、昨年築いてきた基盤をさらに発展させられるよう、

I. 安全強化として

- ①在宅におけるインシデント・アクシデントの認識がスタッフ間で共有できる
- ②防災活動の実施

II. 人材育成として

- ①各個人の課題がクリアできる
- ②ラダーの使用による教育の実施
- ③研修への参加：3回/年以上

III. 継続強化として

- ①在宅療養部間での有効なカンファレンスの実施により、問題点を共有できる
- ②外来 ⇄ 病棟 ⇄ 在宅での継続看護を意識した看護展開ができる
としました。

この中でも特に今年度は人材育成をさらに強化し、院内外を問わず連携を重視し、地域のみなさまに『安心と安全』をお届けできるようこの目標を設定しました。